

主の回復における現在の状況と現在の必要に関して明確な展望を持つ

聖書：Ⅰテモテ 1:3-4. 使徒 1:14. エペソ 4:11-14. テトス 3:10. ローマ 16:17. 使徒 26:19

- I. わたしたちは、神のエコノミーの唯一の務め以外の異なる事を教えることが、分裂を作り出すことを見る必要があります。新約の務めは、新契約の務めであり、宇宙的に唯一無二です——Ⅰテモテ 1:3-4. 使徒 1:17, 25. Ⅱコリント 3:6, 8-9. 4:1. Ⅰテモテ 1:12：
- A. 神のエコノミーの唯一の教え以外のどの教えも、使徒たちによって異なる教えと考えられています——3-4節。
 - B. 新約の務めは使徒たちの教え、神の新約エコノミーの教えにしたがっており、キリストのからだを建造して、新エルサレムを究極的に完成するためです——Ⅱコリント 3:6. エペソ 3:9-10. 4:11-13。
 - C. 新約の務めは唯一無二で団体的ですが、この務めはキリストのからだの奉仕であるので、またからだには多くの肢体があるので、あらゆる肢体には各自の務めがあります——Ⅰテモテ 1:12. Ⅱテモテ 4:5。
 - D. 奉仕者は多くいますが、このすべての奉仕者はただ一つの団体の務めを持っており、それは新約の務めです——Ⅰコリント 16:10. Ⅱコリント 4:1。
 - E. 異なって教えることは神の建造を壊し、神の全体のエコノミーを無にします。ただ一種類の務めだけが建造し、決して分裂しません。これは神のエコノミーの唯一の務めです——Ⅰテモテ 6:3-4。
 - F. 異議を唱える者たちの異なる教えは、神の敵に利用される風であり、彼の民をそらし、彼らを彼のエコノミーから引き離します。これらの異なる教えは、召会の衰退、墮落、変質の主要な源です——エペソ 4:14. Ⅰテモテ 1:3-7. 6:3-5, 20-21。
 - G. すべての分裂の基本的な要因、その根は異なる務めです。すべての問題、分裂、混乱は、異なる務めを容認するという一つの源から来ます——Ⅱコリント 11:2-3：
 - 1. 「もしわたしたちが目を覚ましておらず、不注意であるなら、何とかして敵はひそかに、ある手段、方法を講じて、異なる務めを持ち込むでしょう。そのようなものが主の回復を終わらせるのです」(長老訓練、第1巻：新約の務め、第1章)。
 - 2. 「異なる務めをすべて除き去り、新約の唯一の務めだけを残すことができるなら、すべての宗派、すべての異なるグループ、すべての分裂は消え去るでしょう……もし目新しいもの、異なったもの、この唯一の務め以外のものを実践するなら、主の回復に関する限り、わたしたちはおしまいです。実は、主の回復とは、わたしたちを新約の唯一の務めに戻すことです」(第5章)。
 - H. この務めによって起こされた聖徒たちは、この務めに対する味わいを持っており、この味わいは、主の回復における制御する要因です。この務めによって起こされた者は、それに反する味わいを拒絶するでしょう。これは、もしあなたが主の回復の味わいに反することを語るなら、あなたの語りかけは拒絶され、あなたは損失を被ることを意味します——Ⅰペテロ 2:3。
- II. わたしたちの間の反逆の問題は、ある分裂の要因から出て来ます：

- A. 主の回復の唯一の働きの中で、別の特色ある働きの意図は、分裂の要因です。主の回復の中には唯一無二の働きがあり、それは神の永遠のエコノミーを完成して、キリストのからだを建造するためです（参照、サムエル記上・下ライフスタディ、メッセージ 10. 長老訓練、第 11 巻：長老職と神の定められた道（3）、第 13 章）。
- B. 分離した地盤を守ろうとする傾向は、分裂の要因です。わたしたちは主の度量の中で主のために働くべきですが（Ⅱコリント 10:13-16）、主がわたしたちを測ったものを、わたしたちの特殊な地盤と考えるべきではありません。
- C. 自分の働きを他の人の働きとミングリングさせない方法は、分裂の要因です。主のためのペテロの働きとパウロの働きは、すべてキリストの一つからだのためであり、何の区別も分離もありませんでした——Ⅰコリント 1:12. 使徒 15:2, 4. 21:17-20 前半。
- D. 主の回復の中で突出した人物になろうとする隠れた願望は、分裂の要因です——Ⅲヨハネ 9 節. 参照、使徒 15:39。
- E. 主の回復の中で同じ心・思いを保つのを無視することは、分裂の要因です——1:14. 2:42, 46. エペソ 4:3。
- F. 反逆的で、分裂的で、分裂を引き起こす人の異議を唱える訴えの多くは、わたしたちの間での以前の騒動にあった、サタンの同じ訴えです（啓 12:10-11）（参照、長老訓練、第 10 巻：長老職と神の定められた道（2）、第 10 章. 神の定められた道にしたがった召会生活の実行、第 2-3 章）。
- Ⅲ. どんな現在の反逆的で分裂的な状況をも対処する道は、キリストのからだとしての、また神の家と王国としての召会に関する真理に完全な注意を払い（エペソ 4:15-16. Ⅰテモテ 3:15. ローマ 14:17）、どんな代価をもってでも真理を保ち（Ⅱヨハネ 1-2 節. Ⅲヨハネ 3-4 節）、どんな分裂も拒絶し（Ⅰコリント 1:10）、どんな教えの風にもどんな霊的死の拡散にも抵抗し（エペソ 4:14. Ⅱテモテ 2:16-17）、自分を伝染的な者から分離して、隔離を実行することです（テトス 3:10. ローマ 16:17）：**
- A. 今日状況の中では、正しいか間違っているかの事柄ではなく、わたしたちが分裂的であるかないかの事柄です——Ⅰコリント 1:10-13. 参照、創 2:9。
- B. 中立であることは建造しないで（Ⅱコリント 13:8, 10）、むしろキリストのからだを破壊します。わたしたちは信徒たちを受け入れ、分裂を作る者から離れることによって（ローマ 14:1-3. 16:17）、からだの生活を実行する必要があります。
- C. 真理を保つために、わたしたちはナジル人の誓願をもって個人的な愛情に打ち勝つ必要があります。わたしたちは天然の関係を脇に置いて、からだの真理を実行する必要があります——民 6:1-9. 参照、レビ 10:6-7. 出 32:25-29. 申 33:8-9。
- D. わたしたちは予防する者、命に満ちて真理で構成される者、予防注射して召会の衰退に抵抗する者となる必要があります——Ⅱテモテ 2:1-15. Ⅰヨハネ 5:16 前半. テトス 1:9。
- E. わたしたちは神の地方召会の唯一の立場に立ち、キリストのからだの一と実際のために、代価を払ってブレンディングの実行と内在的な意義の中に入る必要があります——Ⅰコリント 1:1-2, 9-13. 12:24. エペソ 4:3-6。
- Ⅳ. わたしたちは主のあわれみを受けて彼の勝利者となり、新しい復興をもたらして、主**

の現在の回復の中で時代を転換させなければなりません。これは神聖な啓示の最高峰に到達することにより、神・人の生活をするることにより、バイタルグループの中で神にしたがって人を牧養して、キリストのからだを建造し、キリストの花嫁を用意することによります：

- A. わたしたちは時代の務めを通して、神聖な啓示の最高峰に到達することによって、新しい復興に入ることができます。神が一つの時代に行なっている特別な回復と働きは、その時代の務めです。あらゆる時代にその時代のビジョンがあり、わたしたちは、時代のビジョンにしたがって神に仕えなければなりません——箴 29:18. 使徒 26:19. エペソ 1:17. 3:9：
1. わたしたちが今日、神に仕えるために、わたしたちのビジョンは、創世記におけるアダムの第一のビジョンから、啓示録におけるヨハネの究極のビジョンまで、絶えず延伸しなければなりません。今日わたしたちが同じ心・思いにしていることができるのは、ただ一つのビジョン、すなわち最新の、すべてを受け継いでいるビジョン、神の永遠のエコノミーのビジョンを持っているからです。
 2. 神の永遠のエコノミーとは、人を神格においてではなく命と性質において彼であるのと同じにし、ご自身を人と一にし、人を彼と一にして、彼の表現において拡大し拡張し、彼の神聖な属性のすべてが、人性の美德において表現されるようにすることです——I テモテ 1:3-4。
 3. 「わたしは……聖徒たち……が、この啓示を見て立ち上がって祈り、神がわたしたちに新しい復興、歴史において決して記録されたことがない復興をもたらされるように祈ることを望みます」（歴代志上・下ライフスタディ、メッセージ 2）。
 4. 「わたしたちは神の現在の啓示の高嶺を学び、これらの事を語ることを学ばなければなりません……わたしは、わたしたちがみなこの高い委託を取り上げるようにと励まします。すなわち、神聖な啓示の高嶺と神の最新のビジョンをもって出て行き、神聖な啓示の高嶺のために神と共に行動することです。これは神の永遠のエコノミーを究極的に完成するでしょう」（三一の神の啓示と彼の行動、第 12 章）。
- B. わたしたちが神・人の生活、すなわちキリストのからだの実際を生きることを実行するなら、団体の模範が建て上げられ、神のエコノミーにおける模範の生活となるでしょう。この模範は召会の歴史における最大の復興となり、主の再来をもたらすでしょう：
1. キリストのからだの実際は団体の生活、すなわち、再生され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る神・人と、キリストの復活における、三一の神との永遠の結合におけるミングリングの生活です——参照、レビ 2:4-5。
 2. 「わたしたちの間にそのような生活が、完全でないとしても、少なくとも部分的にあるなら、キリストのからだの実際はわたしたちの間にあります。これは、エルサレムの都にあるシオンの山のように、地方召会における回復の高嶺です。キリストのからだの実際としてのそのようなミングリングする生活は、新天新地における新エルサレムにおいて、永遠にわたる神の増し加わりと表現として、究極的に完成します」（混ざり合いに関する実行的な要点、第 4 章）。

3. 「わたしたちはみな、神・人の生活を生きたいと宣言すべきです。最後に、神・人は勝利者、勝利を得る者、エルサレムの中のシオンとなるでしょう。これは歴史において決して見られなかった新しい復興をもたらし、これはこの時代を終わらせるでしょう」(歴代志上・下ライフスタディ、メッセージ4)。
- C. わたしたちは天の務めにおけるキリストと協力して、バイタルグループの中で神にしたがって人を牧養し、神のエコノミーを完成して、キリストのからだを建造する必要があります—— I ペテロ 5:4, 2:25, 使徒 20:28 :
1. 「わたしたちがこの牧養する負担を受け入れることによって、わたしたちの間に真の復興があることを、わたしは望みます。すべての召会がこの教えを受け入れ、キリストのすばらしい牧養にあずかるなら、回復の中に大きな復興があるでしょう」(バイタルグループ、メッセージ4)。
 2. 「わたしは、わたしたちがこう祈ることを望みます、『主よ、わたしは復興されたいです。今日からわたしは牧する者になりたいです。わたしは行って人を養い、人を牧養し、人を群れとなしたいです』」(ヨハネによる福音書結晶の学び、第13章)。
 3. 「これらの事を実行するなら、主の回復に真の復興があるでしょう。わたしたちは、神性にある父なる神の愛し救す心と、人性にある救い主キリストの牧養し捜す霊を持った牧者でなければなりません。わたしたちはまた、キリストの神聖で奥義的な教えすべての天的ビジョンを持たなければなりません。牧養することと教えることはバイタルグループの義務であり、神によって定められた基本的な道であって、キリストのからだを建造し、新エルサレムを究極的に完成します」(バイタルグループ、メッセージ6)。